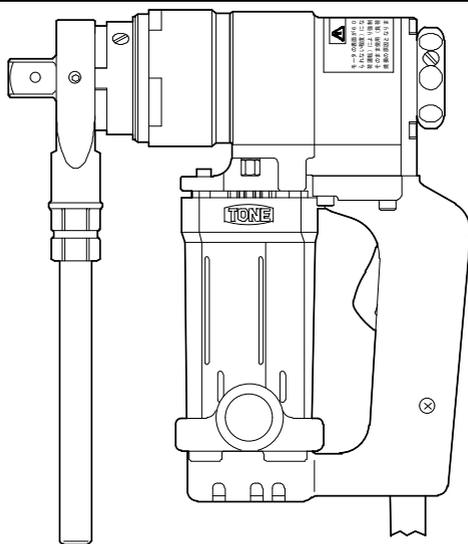


取扱説明書

INSTRUCTION MANUAL No. 2007

型 式

SCR101 / SCR102



警告

- 製品をご使用される前に、取扱説明書をお読みいただき、理解していただいた上でご使用ください。
- 取扱説明書は、いつでも読めるように所定の場所に大切に保管してください。
- 取扱説明書の表紙に記載している型式は、日本国内での使用に限定させていただきますので、ご了承ください。日本国外での使用につきましては、保証できません。

The models described on the front page of the instruction manual can only be used in Japan. Cannot be used outside Japan.

はじめに

この度は、**スクリーランナー** をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

■まず、下記事項をご確認ください。

- 輸送途中で損傷した箇所がないか。
- ねじ・ボルトに脱落・緩みがないか。
- 注文通りのものが入荷しているか。
- 付属品は、全部そろっているか(☞P.12)。

万一、不具合な点がございましたら、お買い求めの販売店、または弊社営業所までお申し付けください。

■製品をご使用される前に、取扱説明書をお読みください。

人身事故や故障を未然に防ぐためにも、取扱説明書の内容を理解していただいた上で、ご使用ください。また、ご使用方法を熟知された方、すでにお読みになった方も、ご使用前には、今一度取扱説明書をお読みください。

■お読みになられた後は、いつでも読めるように備え付けの保管袋に、大切に保管してください。

■万一、取扱説明書および警告ラベルを紛失・破損された場合、または保管用として別途、取扱説明書をご入用の方は弊社営業所までお申し付けください。

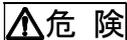
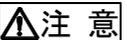
お買い求めの製品や取扱説明書の内容について、不明な点がございましたら、お買い求めの販売店、または弊社営業所までお問い合わせください。

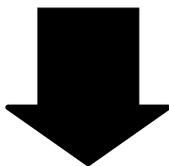
■取扱説明書に記載しております内容は、日本国内においてのみ有効とさせていただきます。ご了承ください。

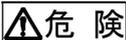
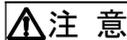
日本国外での使用につきましては、保証できません。

The models described on the front page of the instruction manual can only be used in Japan. Cannot be used outside Japan.

注意文について

注意文の    の意味について



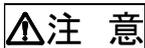
■ご使用上の注意事項は    に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

 **危険**

誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容のご注意。

 **警告**

誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意**

誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容のご注意。

なお、 に区分した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。

いずれも安全に関する重要な内容を記載してありますので、必ず守ってください。

目 次

1. 用 途	4
2. ⚠ご使用上の注意事項	4
3. 各部の名称および付属品	12
4. ご使用前に	13
5. 部品の交換方法	14
6. 操作方法	19
7. 保守点検	22
8. 仕 様	24
9. 特 長	24
10. アフターサービス	24

⚠印の項目は重要事項ですので、よくお読みください

1.用途

- ねじを送る、混ぜる(ミキサー)など低トルクで高速回転を要する作業での使用を想定しています。

2. ⚠️ご使用上の注意事項

- 火災・感電・けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「注意事項」を守ってください。
- ご使用される前に、この「注意事項」をお読みいただき、指示に従って正しくご使用ください。

⚠️危険

●高所作業での感電に注意してください。

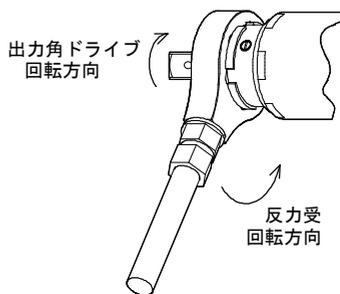
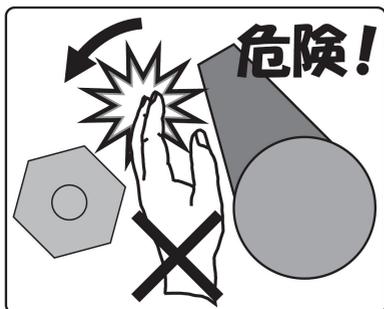
○高所作業での感電は、転落・落下事故を引き起こし、大変危険です。

●作業中は反力受に手や指、および足などを近づけないでください。

○反力受があたる箇所に手や指、および足などがいないか確認し作業してください。

○反力受は出力角ドライブの回転方向に対し、逆の方向に回転します。ご注意ください。

手・指・足のけがの原因になります。

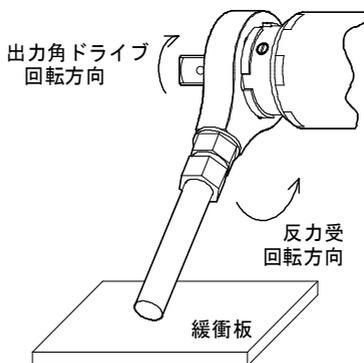


⚠ 警告

●反力受は、安定した箇所に正しくあててください。

- 万一、傷つきやすい箇所しかない場合は緩衝板（鉄板など）で保護し安定させてから作業してください。また、緩衝板は滑って飛ばないように、確実に固定してください。

事故・けがの原因になります。



●感電に注意してください。

- 雨中や雪中、および濡れた所や湿った所では、使用しないでください。
- 濡れた手で電源プラグに触れないでください。

感電・火災・漏電の原因になります。

●使用中は、電動レンチ本体を両手で確実に保持してください。

- 締付け中は反力が大きくなりますので、両手で確実に保持してください。
- けがの原因になります。

●コードは、定期的に点検してください。

- 万一、損傷している場合は、お買い求めの販売店、または弊社営業所に修理を依頼してください。

感電・火災・漏電の原因になります。

警告

●ガソリン・ガス・シンナー・ベンジンなど引火性危険物がある場所では、使用しないでください。

- スイッチは、開閉時に火花を発生します。
また整流子モータは回転中に整流火花を発生しますので、
引火性危険物がある所では使用しないでください。
爆発・火災の原因になります。

●高所作業での、落下事故に注意してください。

- 安全帯を、着用してください。
- 落下物による危険防止のため、作業場にはネットや帆布などによる安全策を講じてください。
- 作業場の下に人がいないことを確認し作業してください。
- 心身の疲れを感じた場合は作業をしないでください。
転落・落下事故の原因になります。

●無理に使用しないでください。

- 能力範囲内で使用してください。
能力範囲を超える使用や、本来の目的以外の使用は損傷を
まねくばかりだけでなく、事故・けがの原因になります。

●ソケット／反力受／出力アダプターは、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。

- 取り付けが不完全であると、事故・けがの原因になります。
取り付け方法は、「部品の交換方法」(⇨P.14)の項目を
ご覧ください。

●不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて持ち運ばないでください。
誤って起動する恐れがあり、けがの原因になります。

警告

● 次の場合は、電源プラグを電源から抜いてください。

- 使用しない場合
 - 付属品などを交換する場合
 - 点検・整備を行う場合
 - その他、危険が想定される場合
- 不意に起動し、けがの原因になります。

● 分解・改造をしないでください。

分解や改造は、感電・火災・故障・けが・精度不良の原因になります。

▲ ただし、下記消耗品は必要に応じて交換してください。

ソケット／オリング／ピン／反力受／止めねじ／カーボンブラシ

● 使用しない場合は、メタルケースに収納し、所定の場所に保管してください。

- 乾燥した場所で、子供の手の届かない所、または鍵のかかる所に鍵を掛けて保管してください。

故障および、誤操作・事故の原因になります。

● 運転中に異常音・振動・異臭などを感じた場合は、ただちに使用を中止し、電源プラグを電源から抜いてください。

- お買い求めの販売店、または弊社営業所までご連絡ください。

感電・火災・けがの原因になります。

● 修理は、お買い求めの販売店、または弊社営業所にお申し付けください。

修理知識および技術力のない方が修理されますと、性能を発揮できないだけでなく、事故・けが・故障の原因になります。

警告

●ご使用になる前に、下記の点検を行ってください。

- 電動レンチ本体／ソケット／反力受／出力アダプター／メタルケース／コード／電源プラグ／コネクター／アース線／アースクリップ／その他部品などに、変形・亀裂・破損などの異常がないか、点検してください。
- ソケット／反力受／出力アダプターが電動レンチ本体に正常にセットされているか確認してください。
- 反力受／出力アダプターを固定する止めねじが緩んでいないか確認してください。

異常がある場合は、使用しないでください。

感電・火災・やけど・けがの原因になります。

●電源は、銘板表示の電圧で使用してください。

火災・やけど・破損・けがの原因になります。

●落としたり、ぶついたりしたときは、異常がないか点検してください。

- 変形・亀裂・破損などの異常がないか、点検してください。

異常がある場合は、使用しないでください。

感電・火災・やけど・けがの原因になります。

●接地(アース)と共に感電防止用漏電しゃ断器が設置されているかどうか確認してください。

- 漏電しゃ断器は定格感度電流15ミリアンペア(mA)以下、動作時間0.1秒以下の電流動作型をご使用ください。

感電・火災・漏電の原因になります。

参考資料:漏電しゃ断器や接地については次の法規があります。

ご参照ください。

- ・労働安全衛生規則
- ・電気設備技術基準
- ・電気設備技術基準の解釈

●ご使用の際には、確実にアース線を接地してください。

感電・漏電・火災の原因になります。

⚠ 警告

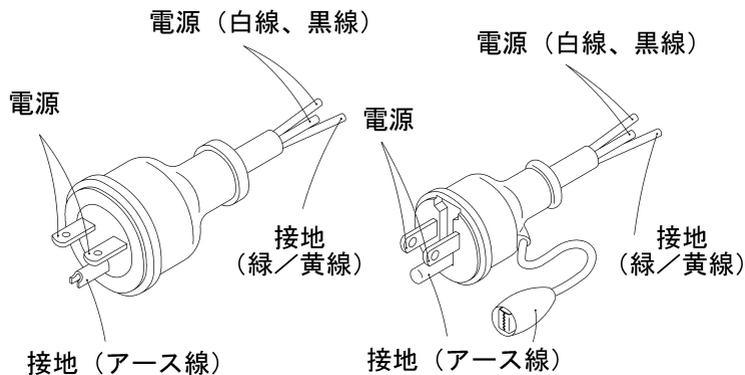
●アース線は、ガス管に接続しないでください。

爆発・引火の原因になります。

●延長コードは、アース線を備えた3心コードを使用してください。

○1本をアース線として用い、電動レンチ側のアースに接続してください。

アース線のない2心コードですと感電の原因になります。



注意

●作業場は、いつもきれいに保ってください。

- ちらかった場所や作業台で使用しないでください。

事故の原因になります。

●子供を近づけないでください。

- 作業員以外に電動レンチやコードに触れさせないでください。
- 作業員以外を作業場に近づけないでください。

●作業する場所の安全を確認してください。

- 常に足場をかため、身体の安定を保って作業してください。
- コードを物に巻き付けしないでください。
- コードで足を引っかかないよう、注意して作業してください。
- 作業場は、明るくしてください。

●作業に適した機種選定をしてください。

- 用途以外に使用しないでください。

●作業に適した服装で作業をしてください。

- 屋外での作業の場合は、ゴム手袋と滑り止めのついた履物をご使用ください。
- 作業現場に入る時は、ヘルメット・帽子などを正しく着用してください。

●付属品は、当社純正品をご使用ください。

- 本取扱説明書・弊社カタログに記載されている付属品の交換は、当社純正品をご使用ください。

事故・故障の原因になります。

●電源プラグのタコ足配線をしないでください。

火災・事故・故障の原因になります。

⚠ 注意

●コードは乱暴に扱わないでください。

- コードを持って電動レンチを運ばないでください。
- コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを加熱される所・油などが付く所・傷が付く所には、近づけないでください。

●モータの通風を良くしてください。

- モータの通風口に異物を差し込まないでください。
- モータの通風口を物で覆わないでください。

●念入りに手入れをしてください。

- 使用の際は、握り部および握り手を常に乾いた状態に保ち、油・グリスなどが付かないようにしてください。

●電動レンチ1台毎に感電防止用漏電しゃ断器を設置してください。

感電・漏電・火災の原因になります。

●延長コードを使用する場合は、その末端での電圧が表示電圧の±10%以内であることを確認してください。

●延長コードは、太さに応じて下記の最大長さ以下で、ご使用ください。

コードの太さ (導体公称断面積)	最大長さ	
	100 V	200 V
1.25 mm ²	10 m	20 m
2.0 mm ²	15 m	30 m
3.5 mm ²	30 m	60 m

- 最大長さ以上の延長コードを使用すると、能力低下を引き起こし、故障の原因となります。

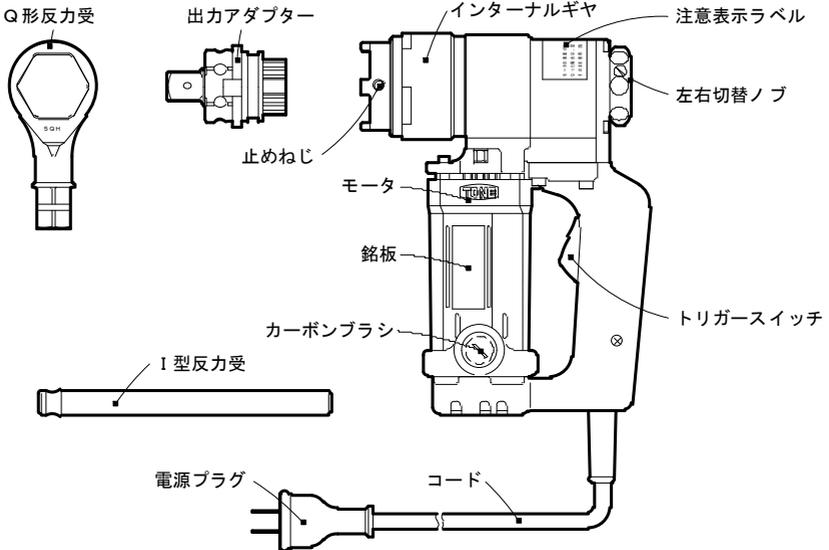
●騒音に関する法・条例を守ってください。

- 各都道府県の条例で定める工場・事業所で使用する場合は、周辺に迷惑をかけないよう、各条例で定める騒音規制値以下でご使用ください。必要に応じて、しゃ音壁を設けてください。

3.各部の名称および付属品

各部の名称

本体



付属品

(-)ドライバー
・出力ユニット交換用



六角棒L形レンチ
・反力受
取り付け・取り外し用



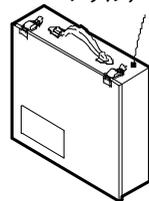
六角穴付止めねじ
・反力受固定用



取扱説明書
(本書)



メタルケース



付属品

型式	付属品	入数
SCR100	○出力アダプター PXAD-6M (本体に装着)	1
	○Q形反力受 5QH	1
	○I形反力受 50H190	1
	○(-)ドライバー	1
	○六角棒L形レンチ	1
	○六角穴付止めねじ	3
	○取扱説明書	1
	○メタルケース	1

●付属品およびオプションなどについての詳細、その他不明な点につきましては、お買い求めの販売店、または弊社営業所へお問い合わせください。

4.ご使用前に



●下記の事項は電源プラグを電源に差込む前に確認してください。

不意に起動し、けがの原因になります。

○電動レンチ本体の点検

電動レンチ本体／ソケット／反力受／出力アダプター／その他部品などに、変形・亀裂・破損などの異常がないか点検してください。
異常がある場合は、使用しないでください。

出力アダプター／反力受を固定している止めねじが
しっかり締まっているか確認してください。

万一緩んでいる場合は付属の(－)ドライバーでしっかりと締付けてください。
詳細は「部品の交換方法」(⇒P.14)を参照してください。

○電源の確認

銘板に表示してある電源でご使用ください。

～ソケットをご利用になる場合～

○ソケットの選択

締付けるボルト／ナットのサイズに応じたインパクト用ソケット(ピン・リング含む)をご用意ください。

○ソケットの装着

インパクトソケットは、付属のピンとリングでレンチに確実に取付けてください。

取り付けた後は、ソケットが本体から外れないことを確認してください
詳細は「部品の交換方法」(⇒P.14)を参照してください。

5.部品の交換方法

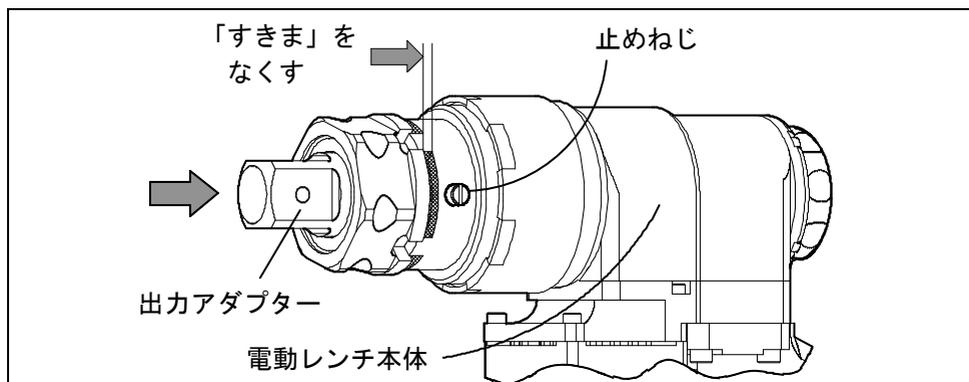
●反力受の取り付け

1. 出力アダプターを電動レンチ本体に取り付けます。

○電動レンチに合った出力アダプターをご用意ください。

○出力アダプターの凹凸部を、電動レンチ本体の先端部にある凹凸部に図のように差し込みます。

○出力アダプターと電動レンチ本体との結合部に「すきま」がなくなったことを確認し、この位置で2ヶ所の止めねじを確実に締付けてください。



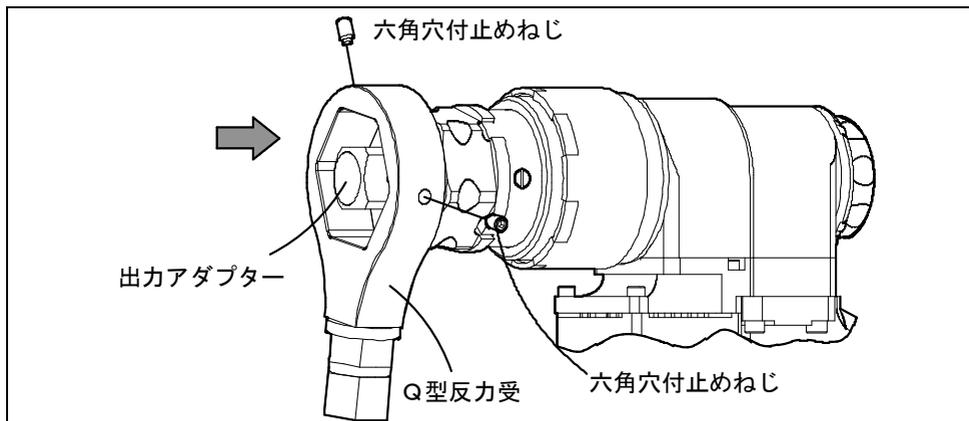
⚠ 警告

●「すきま」のないようにセットしてください。

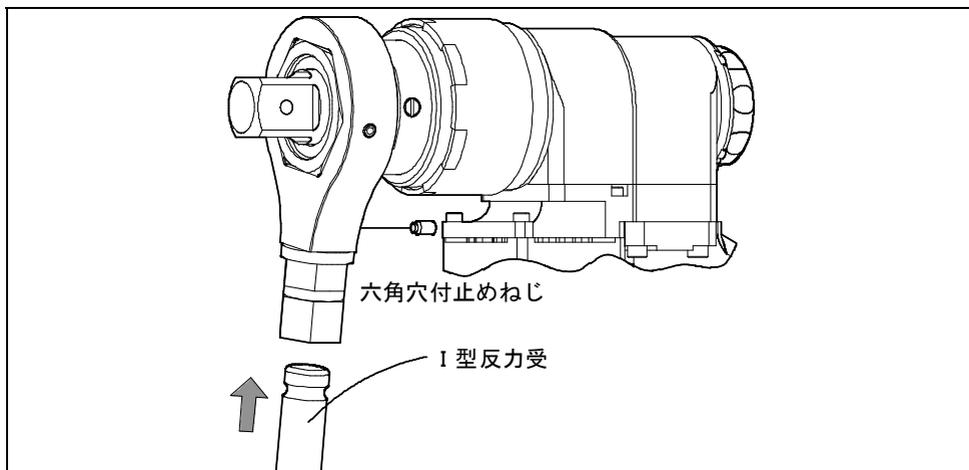
けが、破損の原因になります。

2. 反力受を出力アダプターの六角部に取り付けます。

○「Q形」反力受を出力アダプターの六角部にセットし、2ヶ所の六角穴付止めねじで確実に締付けてください。



○「I形」反力受を1ヶ所の六角穴付止めねじで確実に締付けてください。

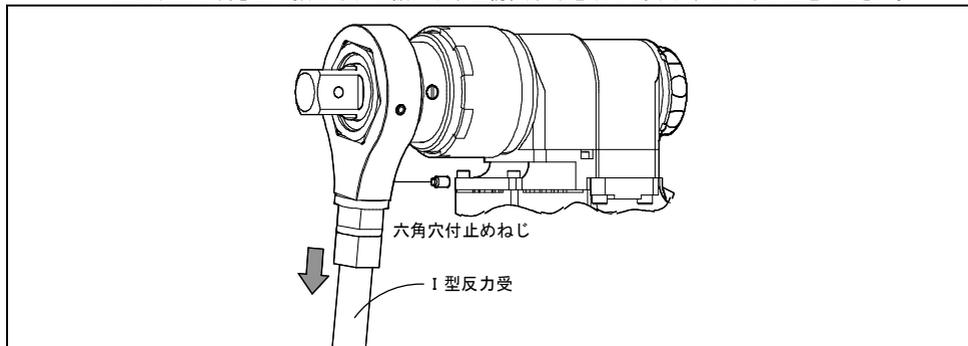


●反力受の取り外し

1. 反力受を出力アダプター部から取り外します。

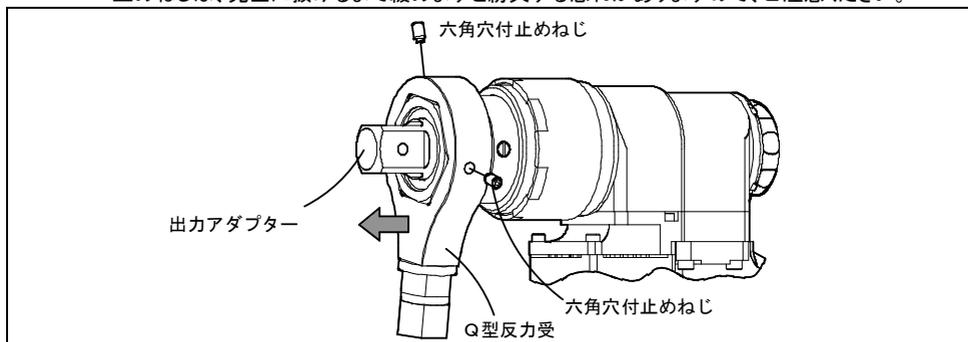
○「I形」反力受を固定している六角穴付止めねじを緩めて反力受を取り外します。

…止めねじは、完全に抜けるまで緩めますと紛失する恐れがありますので、ご注意ください。



○「Q形」反力受を固定している2ヶ所の六角穴付止めねじを緩めて出力アダプターから取り外します。

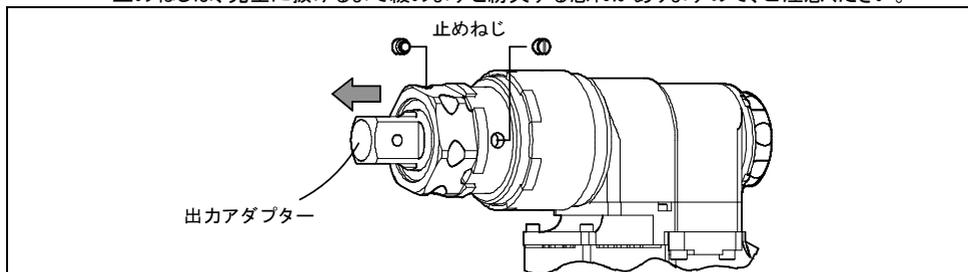
…止めねじは、完全に抜けるまで緩めますと紛失する恐れがありますので、ご注意ください。



2. 出力アダプターを電動レンチ本体から取り外します。

○付属の(－)ドライバーで電動レンチ本体の先端にある2ヶ所の止めねじを緩めて出力アダプターを取り外します。

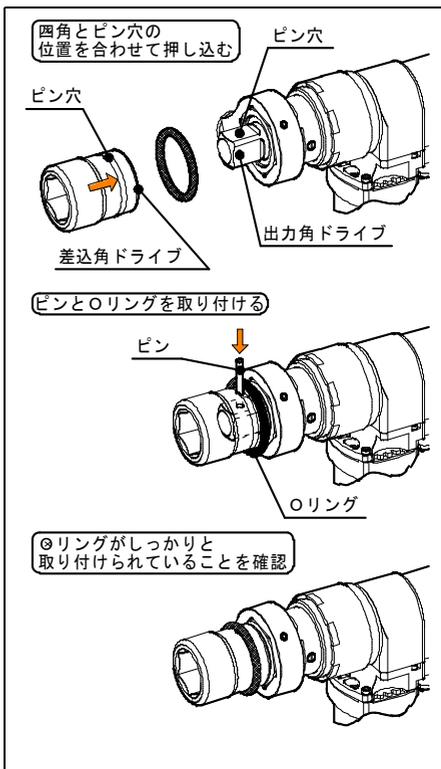
…止めねじは、完全に抜けるまで緩めますと紛失する恐れがありますので、ご注意ください。



～ソケットをご利用になる場合～

●ソケットの取り付け

- 締付けるボルト／ナット及び出力角ドライブのサイズに合ったインパクト用ソケットをご用意ください。
- 出力角ドライブとソケットの差込角ドライブおよびピン穴の位置を合わせて、ソケットを装着します。
- ソケットのピン穴にソケットに付属する「ピン」を装着します。
- ソケットのみぞ部にソケットに付属する「リング」を装着します。
- 安全のため「リング」がしっかりと装着されていることを確認し、この状態でソケットが本体から外れないことを確認してください。



⚠ 警告

●ソケットは「トネ インパクト用ソケット」をご使用ください。

他のソケットをご使用になると、反力受の位置が合わず締付け不良・ボルト／ナットの損傷・電動レンチの故障およびけがの原因になります。

●ソケットに割れ・欠け・摩耗・変形がないか確認してください。

ソケットが破損した場合、けがの原因になります。

●リングの著しい変形およびピンに変形・亀裂・破損などがなければ確認してください。

ピン・リングは消耗品です。異常がある場合は新品に取り替えてください。ソケットの落下およびピンの飛び出しによるけがの原因になります。

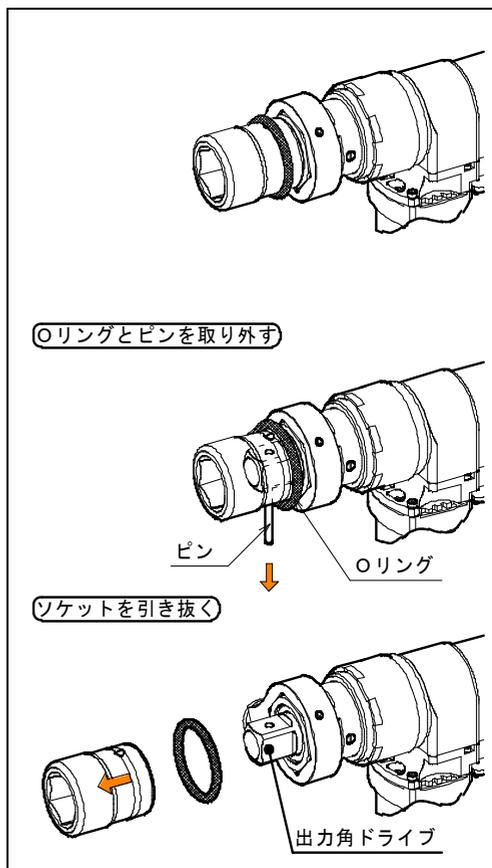
●装着後ソケットが確実に取り付けられているかソケットを引っ張って確認してください。

確実に装着されていない場合、使用中にソケットが外れて落下し危険です。ソケットの耐久力の低下や電動レンチの故障およびけがの原因になります。

けが・電動レンチ故障の原因になります。

●ソケットの取り外し

- ソケット外周部に装着されている「Oリング」を外します。
- 出力角ドライブとソケットに挿入されている「ピン」を取り外します。
- ソケットを出力角ドライブより引き抜きます。



⚠ 警告

- ソケットに割れ・欠け・摩耗・変形がないか確認してください。
ソケットが破損した場合、けがの原因になります。

- Oリングの著しい変形およびピンに変形・亀裂・破損などがないか確認してください。

ピン・Oリングは消耗品です。異常がある場合は新品に取り替えてください。
ソケットの落下およびピンの飛び出しによるけがの原因になります。

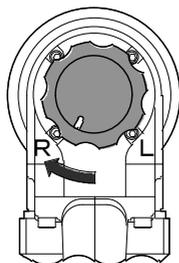
6.操作方法

～ボルト／ナット締付けを例とします～

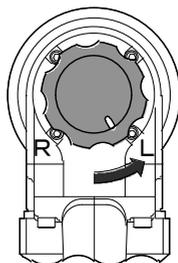
●「締め」操作方法

○左右切替ノブをボルト／ナット(ソケット)の締付け回転方向に合わせて設定してください。

* 万一、「右回転(R)」 「左回転(L)」が切り替わらない場合は、電動レンチを1～2秒間起動させてから操作してください。



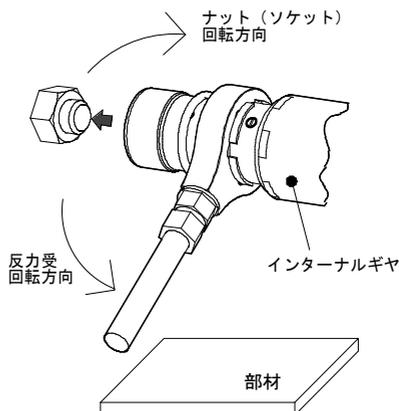
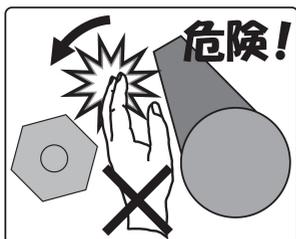
右回転(R)



左回転(L)

○インターナルギヤを手でまわしながらソケットをボルト／ナットに完全に差し込んでください。

* 反力受は電動レンチの起動時にボルト／ナット(ソケット)の回転方向に対し、逆の方向に回転しますので、隣接のボルト／ナットまたは部材で反力が受けられるよう配慮し作業してください。



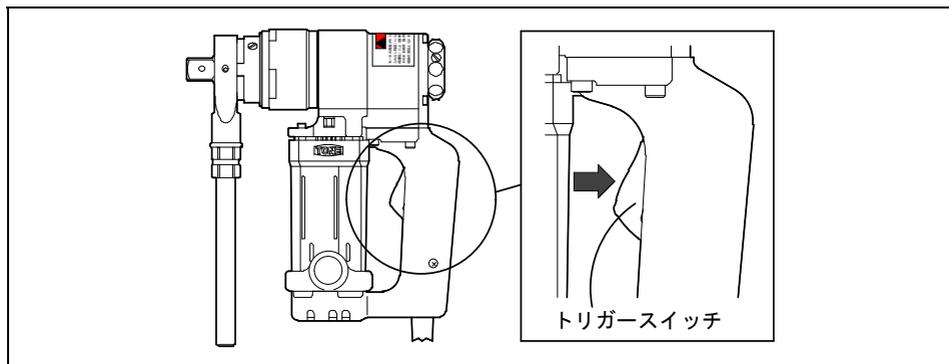
⚠ 危険

●反力受に手や指、および足などを近づけないでください。

手・指・足のけがの原因になります。

○トリガースイッチを操作して電動レンチを起動してください。

反力受が隣接のボルト／ナットまたは部材にあたり、ボルト／ナットを締付け始めます。



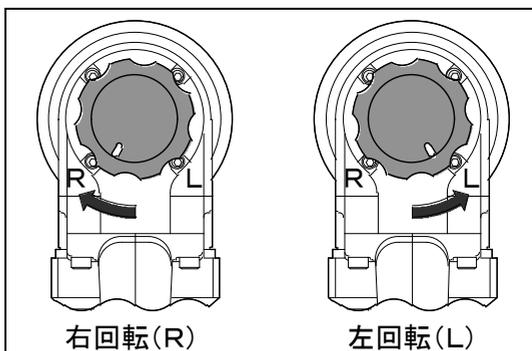
○トリガースイッチから手を離せば電動レンチは停止します。

⚠ 注意

- モータの表面が 60 度以上(目安:素手で触れられない程度)になった場合は、空回し(無負荷運転)により強制空冷をしてください。そのまま使用(負荷運転)を続けるとモータ焼損の原因となります。
- 作業のときは、「右回転(R)」「左回転(L)」を間違えないよう、左右切替ノブの位置を再確認してください。
- 「右回転(R)」「左回転(L)」の切替操作やトルク設定は、モータ停止の状態で行ってください。
事故・故障・けがの原因になります。
- 1度締付けたボルトの2度締め(増し締め)はしないでください。
締付不良・ボルト／ナットの破損・電動レンチの故障およびけがの原因になります。

●「ゆるめ」操作方法

- 左右切替ノブをボルト／ナット(ソケット)のゆるめ回転方向に合わせて設定してください。
- トルク設定ダイヤルを最大にあわせてください。
- インターナルギヤを手でまわしながらソケットをボルト／ナットに完全に差し込んでください。



* 反力受は電動レンチの起動時にボルト／ナット(ソケット)の回転方向に対し、逆の方向に回転しますので、隣接のボルト／ナットまたは部材で反力が受けられるよう配慮し作業してください。

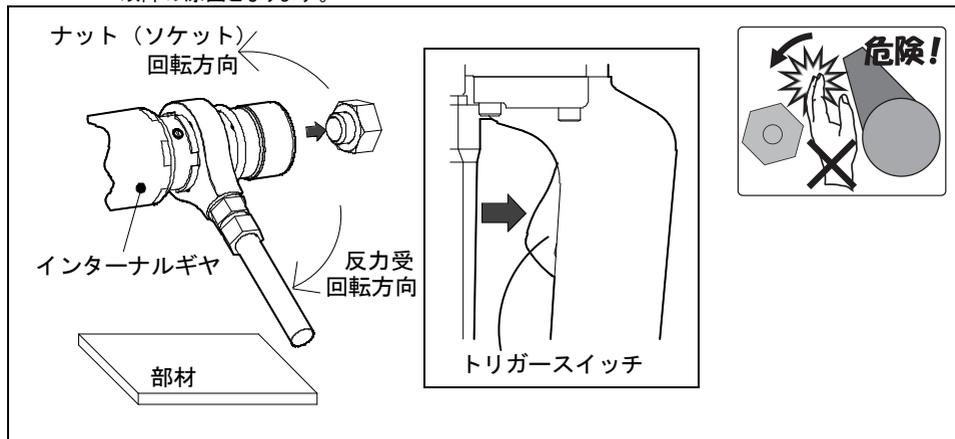
⚠ 危険

- 反力受に手や指、および足などを近づけないでください。
手・指・足のけがの原因になります。

○トリガースイッチを操作して起動してください。

反力受が隣接のボルト／ナットまたは部材にあたり、ボルト／ナットをゆるめ始めます。トリガースイッチから手を離せば電動レンチは停止します。

…ゆるまない場合は、電動レンチの許容能力を超えていますので、作業を中止してください。
故障の原因となります。



7.保守点検

⚠ 警告

●保守点検を行うとき、使用後および停電のときは、スイッチを切り、電源プラグを電源から抜いてください。

不意に起動し、感電・けがの原因になります。

○ソケット部およびソケットとレンチの取り付け部周辺は、異物(ほこりなど)が附着・混入し易い箇所ですので、定期的に取り外して清掃してください。

○汚れを拭き取る場合は、乾いたウエスで拭いてください。

ベンジン・シンナー・ガソリンなどの有機溶剤で拭かないでください。ひび割れや変色の原因になります。

○モータ内部には、油・有機溶剤など、異物が入らないよう注意してください。

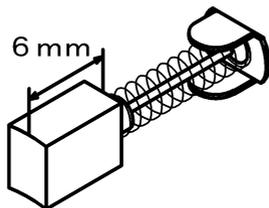
○作業終了後は、メタルケースに入れて乾燥した場所に保管してください。

○カーボンブラシは定期的に点検し、カーボンブラシの長さが6mm以下の場合は、当社指定の新品と交換してください。

※カーボンブラシは2ヶ所使用しております。交換の際には2ヶ所とも交換してください。

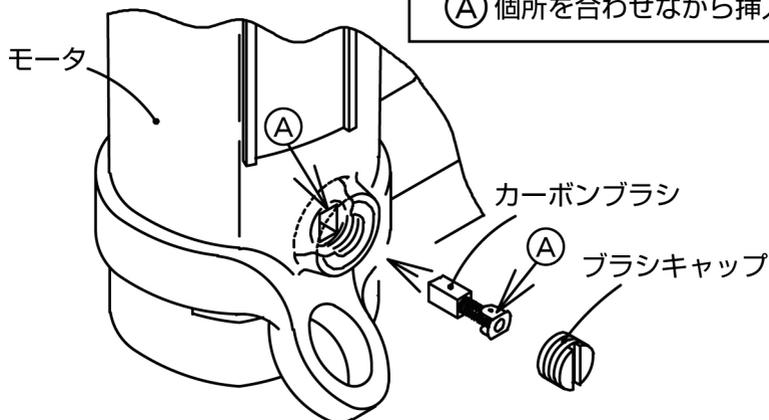
※電動レンチ本体の型式により使用するカーボンブラシが異なる場合があります。

ご入用の際は、本体型式をご指定ください。



○カーボンブラシの交換は、次のとおり正しく差し込んでください。

下図のように(A)個所と
(A)個所を合わせながら挿入する



○6ヶ月使用毎を目安に、オーバーホール(有償)を受けてください。なお、オーバーホールにつきましては、お買い求めの販売店、または弊社営業所までお申し付けください。

8.仕様

型式	SCR101	SCR102
周波数	50-60Hz	50-60Hz
電圧(単相)	100V	200V
最大電流	10.5A	5.5A
最大消費電力	1020W	
常用最大トルク	100N・m	
無負荷回転数	80min ⁻¹	
騒音・振動	音圧レベル 84dB(A), 音響パワーレベル 95dB(A) 振動レベル 2.5m/s ² 以下 (定格電圧無負荷運転時)	
本体質量	5.2kg	

●本体質量は、アダプター・反力受を含み、コード線は含まれておりません。

9.特長

- インパクトレンチでの早回し作業に代わる高速&低トルクレンチ。
- 右回転・左回転の切替が可能です。

10.アフターサービス

■取扱説明書・電動レンチ本体・付属品などに記載されている **警告ラベル** などの注意書に従って正しくご使用ください。

■アフターサービスについての詳細につきましては、お買い求めの販売店、または弊社営業所へお問い合わせください。
なお、お問い合わせの際は、型式・製造番号・購入年月日・電圧・故障状況などを詳しくご報告ください。

注意

- 精度不良、および故障などによって重大な損害が生じると予想される場合は、使用しないでください。

事前に予備機などの代替手段を用意してください。

- 予告なしに改良・仕様変更をする場合があります。
変更の場合、取扱説明書の内容が変わりますのでご注意ください。
- 取扱説明書は、保管してください。
- Specifications may be changed without notice.
Modification of instruction manual will be substituted for the notice.
- Please have custody of instruction manual.

TONE® **TONE 株式会社**

本社 〒556-0017 大阪市浪速区湊町2丁目1番57号
営業企画部 〒586-0026 大阪府河内長野市寿町6番25号
TEL (0721) 56-1850 FAX (0721) 56-1851

Web Site: <https://www.tonetool.co.jp>
e-mail: ko-eigyo@tonetool.co.jp



TONE® **TONE CO., LTD.**

1-57, MINATOMACHI 2-CHOME, NANIWA-KU, OSAKA 556-0017, JAPAN
TEL +81-6-6649-5984 FAX +81-6-6649-5985

Web Site: <https://www.tonetool.co.jp>
e-mail: overseas@tonetool.co.jp



IMK1083